

SPECIAL PERFORMANCE

◆ 箏譜例 1 《千鳥の曲》

Fig. 1

ニ	七	九	三	為	千鳥の曲 (尺八曲)
○	ア	十	○	○	
三	○	十	三	七	
四	斗	斗	ニ	力	
二	斗	斗	三	六	d 流し爪
七	斗	斗	三	六	a ヒキイロ
○	○	○	○	○	○
二	○	前	七	五	b スクイ
三	○	歌	○	四	c ユリ
十	五	○	七	五	九
○	○	○	六	○	○
六	斗	斗	十	六	五
七	○	○	○	四	五
五	○	○	○	五	斗
十	ニ	十	斗	六	斗
○	○	九	九	三	九
○	○	十	八	七	十
○	○	八	八	○	斗
○	○	八	八	○	七

a: ヒキイロ hikiiro b: スクイ sukui
c: ユリ yuri e: 押し合わせ oshi awase

《千鳥の曲》は、浜辺に遊ぶ千鳥の様子を歌った曲で、冒頭の4行で千鳥の鳴く様子や浜辺の様子を表しています。

- 出現する奏法 (①・②に該当)
- ・ 千鳥の鳴く様子 → 【スクイ】・【ユリ】・【押し合わせ】
- ・ 浜辺の様子 → 【流し爪】・【押し合わせ】・【ヒキイロ】

◆ 箏譜例 2 《夕顔》

Fig.2

a: 輪連 waren

《夕顔》は、源氏物語の『夕顔』の物語をもとにした楽曲です。

- 出現する奏法 (②に該当)
- 歌詞「身に沁む夜半の風」の風の部分
- ・風→【輪連(われん)】〔唱歌：シュー〕】

◆ 箏譜例 3 《五段砧》

Fig. 3

一〇	六	七	〇	〇	七	〇	五	一
二	七	七	七	為	〇	十	〇	〇
三	〇	〇	十	十	〇	十	〇	〇
四	六	〇	斗	為	〇	十	〇	〇
五	ス	九	七	〇	七	七	〇	三
六	八	七	十	十	〇	〇	〇	〇
七	九	七	九	〇	〇	〇	〇	〇
八	六	八	八	〇	〇	十	〇	〇
九	七	七	七	斗	七	〇	〇	〇
十	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五
十一	六	八	中	為	斗	十	〇	〇
十二	二	七	斗	斗	〇	〇	〇	〇
十三	七	十	十	〇	七	十	〇	〇
十四	八	斗	七	十	〇	七	〇	〇
十五	〇	八	九	十	斗	〇	〇	〇
十六	十	十	十	斗	〇	〇	〇	〇
十七	八	十	八	八	〇	十	〇	三
十八	〇	九	七	ス	〇	〇	〇	〇

a: 砧の掛け合い kinuta no kakeai

《五段砧》は、「砧」のリズムを中心として、5章に分かれて様々な手法や旋律で編曲されている曲。一般的には箏の低音と高音で合奏します。

- 出現する奏法 (②に該当)
冒頭の2行目の部分
- 箏低音・高音の楽器による砧のリズムでの「かけあい」

◆ 箏譜例 4 《秋の言の葉》

Fig. 4

a: 引き連 hiki-ren b: 裏連 ura-ren

《秋の言の葉》は、虫の音や砦の響きなど秋の描写が組み込まれた楽曲です。

● 出現する奏法 (③に該当)

歌詞「露の情けに身に染みる」の露の部分

・ 露→【引き連】【裏連 (うられん)】〔唱歌：サーラリン〕

SPECIAL PERFORMANCE

◆三絃譜例1 《八重衣》

Fig. 5

a: ハジキ hajiki

《八重衣》は、小倉百人一首の中から「衣」詠み込んだ和歌が5歌抜粋されており、それらの和歌を春夏秋冬の季節順に並べ作曲されています。譜例部分は、秋の和歌の部分。

- 出現する奏法 (①に該当)
- 歌詞歌詞「きりぎりす鳴くや」の部分
- ・鳴く音→【ハジキ】

◆三絃譜例 2

三絃譜例 1

《八重衣》の続きの
手事の部分

Fig. 6

The image shows a musical score for three strings (三絃). The notation includes various symbols such as numbers (e.g., 5, 9, 15, 19), circles, and lines, representing different notes and rhythms. A red box highlights a specific measure in the top right corner, labeled 'a'. The score is organized into a grid with multiple rows and columns, representing different parts of the music.

a: ハジキ

◆三絃譜例3 《ゆき》

Fig. 7

The image shows a multi-staff musical score for shamisen. The score is written in a traditional notation system using numbers (1-9), letters (A, X, C), and Japanese characters (e.g., 依, 伏, 七, 六, 五, 四, 三, 二, 一). A red box highlights a section of the score, and a red letter 'a' is placed above it, indicating a specific performance technique.

a: 合いの手 aino-te, or 雪の手 yukino-te

《ゆき》は、訪れの絶えた恋人を待って、夜半の鐘を聞きながら夜を明かすこともあったという切ない心情を歌った楽曲。

●歌詞「心も遠き夜半の鐘」の後に演奏される「合の手」と呼ばれる間奏はとても美しい旋律で、本来は鐘の音の描写ですが、「雪の手」とも称されています。この「雪の手」は邦楽の他のジャンルでも雪の情景として演出に利用されています。三絃譜例3の3行目から次ページの楽譜の1行目までの部分。

SPECIAL PERFORMANCE

◆三絃譜例 4 《ゆき》

三絃譜例 3
《ゆき》の続きの部分

Fig. 8

a: 合いの手 aino-te

(譜例部分の「合の手」に該当する演奏表現→②・③)